

こうふ町 議会だより

第211号

令和7年11月19日発行
江府町議会

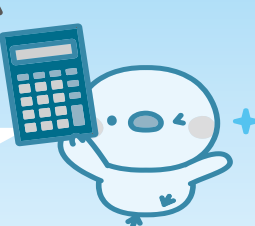
秋空に元気いっぱい 響かせて

- 令和6年度決算認定 2～10
- 組合議会 11
- 一般質問 12～16
- 風力発電計画中止を求める決議 17
- 私のひとこと 18

子供の国保育園の運動会 演目：日野川子供太鼓
写真：江府町地域おこし協力隊 今岡寛和さん

議会のことをわかりやすくお伝えします

昨年度の主な事業は？



ふるさと納税推進事業

令和6年度のふるさと納税寄付額は、6億1,755万円でその約半分を経費として支出した。



2億9,142万円

地方創生推進交付金事業

江府町SDGs推進計画 2,000万円
江府町官民連携によるまち・ひと・しごと創出計画 2,321万円



6,255万円

町営交通対策費

地域住民の通勤通学等生活路線として、町営バス・町営タクシーを運行した。
バス年間延べ利用者数 26,742人
タクシー年間延べ利用者数 6,458人



8,707万円

鳥取梨生産振興事業

梨園整備・育成機関4年間の期間について奥大山農業公社が宮市地区内の造成地の管理を行い、梨栽培を行った。
宮市地区梨園地造成工事
土地造成 5,760㎡、暗渠排水 900㎡
宮市地区宮市梨園地果樹施設設置工事
果樹棚 4,644㎡、灌水設備 4,644㎡



4,106万円

保育園らしくない保育園事業

保育園の機能を持ちつつ、町内外の人が、休日を含み、自由に訪れ利用できる場所で、単なる保育園とは違う「保育園らしくない保育園（コミュニティ・パーク）」の建設に取り組む。

＊県外視察の実施

建物を新しくするだけでなく、保育プログラムについても見直し・検討を行う。

＊外部アドバイザーとの連携

まちづくりプランナー豊田啓道氏と継続契約し、デザイン設計において尽力いただいた。

＊クラウドファンディングの実施

4,178人の方から8,953万円も寄付を頂いた。



3,592万円

奥大山自然塾事業

富良野自然塾の分校として、環境教育を行った。県内からは学童クラブや中学校の宿泊研修で、県外からは修学旅行や視察等で多くの参加者があった。



3,050万円

物価高騰対策支援事業

冬の灯油等の燃料消費量の増加に対応し、全世帯に2万円の現金給付を実施した。



2,004万円

人権文化センター建築事業

人権尊重のまちづくりの拠点施設として人権文化センターを新築した。



工事請負費 7,997万円

8,588万円

地籍調査費

集落からの要望により、社会資本整備及び防災対策の推進、災害復旧の迅速化、土地トラブルの未然防止を目的として実施した。
下蚊屋及び御机（換算面積0.11km²）
江尾及び小江尾（換算面積0.02km²）
武庫（換算面積0.14km²）
久連（換算面積0.03km²）
柿原（換算面積0.46km²）



6,673万円

R6物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金事業

令和6年度住民税均等割が非課税の世帯に対して給付金を支給する。（子ども加算あり）

支給額 ・1世帯当たり3万円
・子ども加算一人当たり2万円

実績額 世帯数 303世帯 給付額 909万円
子供人数 21人 給付額 42万円



1,121万円

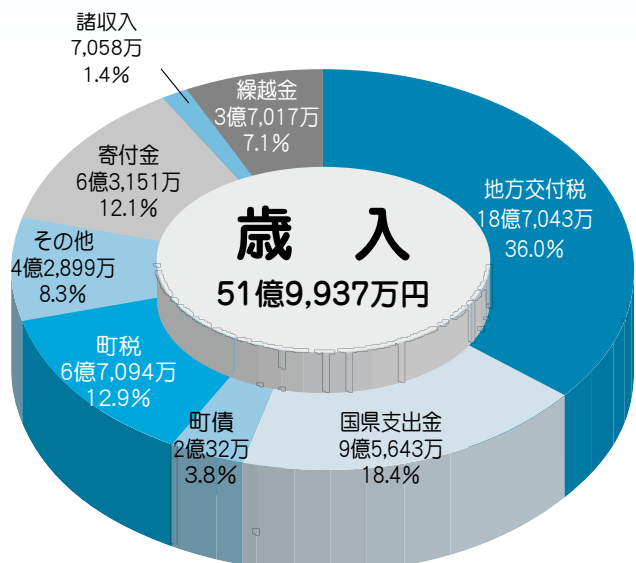
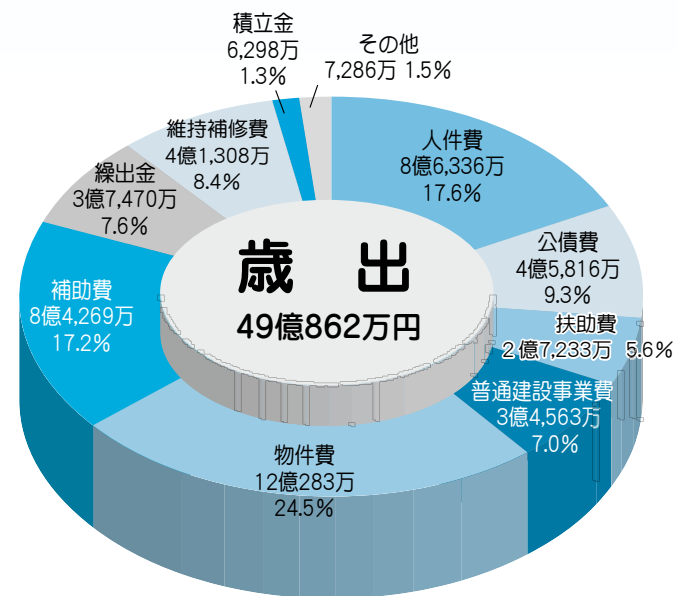
令和6年度

歳入歳出決算を認定

9月
定例会

令和7年度9月定例会が10日に召集され、会期を25日までの16日間として開かれました。今回の定例会は、令和6年度一般会計と11件の特別会計、2件の公営企業会計の決算及び令和7年度補正予算等提出議案33議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。なお、本会議初日に令和6年度決算に係る財政の健全化判断比率及び公営企業会計の資産不足比率について各項目とも基準値を下回っているとの報告がされました。

一般会計



おしえて！

歳出項目の説明

- 人件費：町職員の給与や町議会議員などの報酬
- 公債費：町の借金である町債を返済する費用
- 物件費：消耗品や委託料など
- 扶助費：法令等に基づき町民に支払われる手当や医療費などの補助
- 補助費：負担金や補助金など
- 操出金：一般会計から特別会計や企業会計に支出するお金



なるほど

歳入項目の説明

- 地方交付税：国が徴収した税金から町の財政状況に応じて配分されたお金
- 国県支出金：特定の目的のために国や県から交付されたお金
- 町債：大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れた町の借金
- 町税：みなさんが町に収めた税金

令和6年度財政の健全化判断比率

比率名	令和6年度(%)	早期健全化基準(%)
実質赤字比率	—	15.0
連結実質赤字比率	—	20.0
実質公債費比率	16.0	25.0
将来負担比率	70.2	350.0

令和6年度公営企業会計資金不足比率

会計名	令和6年度(%)	経営健全化基準(%)
簡易水道事業	—	20.0
下水道等事業	—	20.0
索道事業	—	20.0

令和6年度 江府町歳入歳出決算審査意見書



小田明彦代表監査委員

議会初日には令和6年度の決算審査結果について小田明彦代表監査委員より監査意見と共に報告がなされました。以下に要約してお知らせいたします。

審査の期間：令和7年7月22日～令和7年8月20まで(内6日間)

審査意見及び結果：決算の係数は何れも符合しており、誤りのないことを確認した。

総括

(1)現状

歳入決算額は、5,199,369千円で前年比261,006千円の減少、歳出決算額4,908,617千円で前年比181,590千円減少している。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は148,578千円の黒字となっている。

(2)財政指標

財政の弾力性を示す経常収支比率は90.1%でやや財政の硬直化を示している。

(3)所見

(イ) 町債について

本町は令和5年実績に於いて県内市町村のうち唯一実質公債費率が15%を超過している。令和の時代に入ってから令和6年まで大型設備投資の連続であったので残高の膨張はやむを得ない。今後新規設備の起債については熟慮するとともに、適宜既存借り入れの繰り上げ償還を実施し公債費率の上昇を抑えることが肝要である。

(ロ) 町営交通について

ここ3年間、町営バスの年間売り上げは7,800千円以上で堅調に推移している。

(ハ) 収入未済額、滞納額の縮減について

町税については、現年度分徴収率99.78%、滞納分徴収率30.70%である。
町税の口座振替推進方法を工夫して徴収の効率化を図られたい。

(ニ) 地籍調査推進について

県内町村別地籍調査事業進捗率は17.6%で全15町村中14位である、専任担当者が不在であることが原因の一つとして考えられる。

(ホ) 市民農園について

現在利用はなく開園から32年経過した現状を鑑み奥大山自然塾等各種事業などと施設活用方法を模索されたい。

(ヘ) フレックスタイム制導入について

職員定数82名はほぼ充足している。月間一人当たり時間外勤務時間数は平均3.6時間から6.8時間である。能動的な時間外削減の制度として、フレックスタイム制の導入を検討されたい。

(ト) ふるさと納税について

寄付額は減少する可能性があり、将来の見通しも不透明である。過度に寄付を期待することなく事業及び資金計画をなされたい。

特別会計・公営企業会計の状況

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
移住促進住宅	1,285万円	959万円	326万円	1,017万円
国民健康保険（事業勘定）	3億9,018万円	3億5,315万円	3,704万円	2,574万円
国民健康保険（施設勘定）	2億9,904万円	2億6,143万円	3,761万円	4,224万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億3,036万円	5億3,079万円	9,957万円	8,516万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	369万円	355万円	14万円	0
介護老人保健施設	9,143万円	9,143万円	0	7,412万円
後期高齢者医療	6,063万円	5,960万円	103万円	1,897万円
索道事業	1,957万円	1,957万円	0	1,957万円
江尾財産区	204万円	9万円	195万円	0
神奈川財産区	330万円	279万円	51万円	0
米沢財産区	249万円	247万円	2万円	27万円
合計	15億1,558万円	13億3,444万円	1億8,115万円	2億7,624万円

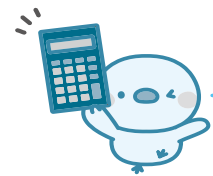
公営企業会計	収入	支出	差引額
簡易水道事業			
収益的収入及び支出	1億1,118万円	1億1,001万円	117万円
資本的収入及び支出	4,804万円	8,756万円	△3,952万円
下水道等事業			
収益的収入及び支出	1億6,409万円	1億5,686万円	723万円
資本的収入及び支出	1億5,410万円	2億0,279万円	△4,869万円

9月定例会陳情の審査結果

	所管	件名及び要旨	審査結果	提出者
陳情6号 令和7年 5月23日	総務経済 常任委員会	裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・政治献金の禁止を求める陳情	不採択	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上 俊夫
陳情8号 令和7年 7月24日	総務経済 常任委員会	鳥取西部風力発電事業に関する陳情書	採 択	江府町の人と水を守る会 提出者 川端 孝子
陳情9号 令和7年 8月4日	総務経済 常任委員会	鳥取西部風力発電事業に関する陳情書	採 択	鳥取西部風量発電事業について考える住民有志 川端 一美・手島 和文・井上 弘樹・岡本 幸枝 影山 加代子・山本 晋昌・松本 直子・松本 敬・岩崎 勇 岩崎 智恵・加藤 明博・田子 智浩・真壁 容子・門脇 文
陳情10号 令和7年 8月5日	総務経済 常任委員会	鳥取西部風力発電事業に関する陳情書	採 択	喜多 範子
陳情11号 令和7年 8月19日	総務経済 常任委員会	消費税5%への引き下げとインボイス制度の廃止を求める陳情書	不採択	米子市博労町3-90 米子民主商工会 会長 植田 均
陳情12号 令和7年 8月22日	教育民生 常任委員会	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情	趣旨採択	米子市米原2丁目3番20号アーバンプラザ1F-4 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 西田 周郎 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 先瀬 文広
陳情13号 令和7年 8月22日	教育民生 常任委員会	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書	趣旨採択	米子市米原2丁目3番20号アーバンプラザ1F-4 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 西田 周郎 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 先瀬 文広

決算の
審査

一般会計



総務課

- Q 出かける役場事業は、こうふのたよりと協力しているか。
- A 情報交換している。
- Q 町管理の外灯、LED化とは。
- A 壊れたものを順次LED化している。
- Q 日輪閣、特産品加工施設の解体用途は。
- A 計画通り進んでいない。状況確認する。
- Q 地域おこし協力隊の応募が増えてきた理由は。
- A 広報の成果だと思ふ。



日輪閣

- Q 男女共同参画事業に力を入れてほしい。
- A 引き続き啓発活動を行っていく。
- Q ユーチューバーを増員する理由は。
- A より良いものを幅広く作成したい。働き方も改革したい。

住民生活課

- Q タクシー利用方法が不明、周知してほしい。
- A 検討する。
- Q バスタクシー運行委託料は定額か。
- A 定額だが、部活タクシー運行により増減する。
- Q サンヒーター設置補助金を考えてほしい。
- A 住民要望等で検討する。
- Q 相談件数は増加しているが、移住者5件は少ないように思う。
- A 住める空き家が町内に少ない。
- Q 空き家再生住宅改修設計委託とは。
- A サブリースをしており、そのための委託料で耐震設計も入っている。
- Q 道の駅、パレット奥大山周辺の駐車場が不足しているのではないかと。
- A 検討する。



パレット奥大山 (佐川)

- Q 俣野ふれあい学舎ミニの稼働開始は。
- A 未定。
- Q 閉じこもりがちな高齢者を対象とした「ふれあいサロンの状況は。
- A 社会福祉協議会と包括支援センターで対応している。
- Q 児童虐待防止のオレングリボンは職員だけの対応か。
- A 令和6年から始めた、これから増やしていきたい。
- Q 各種予防接種、他町との違いは。
- A 接種率を低下させないように対象者への呼び掛けを行っている。
- Q 狂犬病の発生は。
- A 1950年以降日本ではないが、境港に公安があるため継続しなければならぬ。
- Q 健診での癌発見率は。
- A 数件ある。
- Q 不法投棄の取り締まりをお願いしたい。
- A カメラの設置を考えたい。



不法投棄カメラ

産業建設課

- Q 地域振興(株)及びサンエスに送水している配管修繕工事は令和7年度で終了か。
- A 終了の予定。
- Q 町を代表する特産品を作ってほしい。
- A 奥大山ブランド協議会で協議中。



新甘泉

- Q 新甘泉の収量は。
- A 2.7トン売上145万7千円、商品率がよくなっている。
- Q 瓜菜沢には水がないのか。
- A 水はあるが雨の少ない時期は減少するため、今年は委託管理者がタンクで対応した。
- Q 堆肥の熟成度が不十分で雑草の種が混入しているのでは。
- A 雑草の種は65℃で3日間ではなくるので、70℃で製造している。
- Q 地勢調査職員の専任体制は。

- A 新年度に向けて考えていく。

- Q 危険木の事前伐採で危険度判定調査は。
- A 中国電力が過去の実績に基づき実施している。

- Q 粉碎機の貸し出し要件は。
- A 集落単位で貸し出している。

- Q プレミアム付地域振興券の効果は。
- A 99・82%の使用率により町内の消費量が増加した。

- Q 水環境影響評価について公開すべきでは。
- A 評価内容の公開についてはモニタリング委員会で確認する。

- Q 農業公社の支援として農業の専門知識を回答できる技能や知識の研修をおこなっているか。
- A 研修は行っている。

- Q 環境王国の取り組みとは。
- A ホームページで米コンクール等の紹介をしている。

教育課

- Q 防災情報センターの愛称「愛ベルこうふ」が定着していない、積極的に愛称を使用してほしい。
- A 「愛ベルこうふ」を使用するよう心掛ける。



愛ベルこうふ

- Q 洲崎カツラの木周辺、通行路を整備してほしい。
- A 予算でできる範囲で対応する。

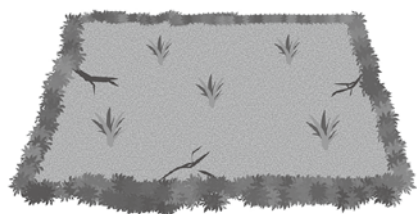
- Q 人権文化センター周辺整備で外灯が必要では。
- A 検討する。

- Q 町民プールの防塵対策をしているか。
- A していない検討する。

- Q 「あかるいこころ」は小地域懇談会資料なので早めに作成にとりかかってほしい。
- A 検討する。

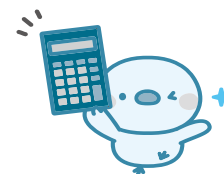
農業委員会

- Q 利用権設定で32件の解約があった理由は。
- A 高齢化によるところが多い。
- Q 荒廃農地を出さないために利用権の解約についてデータ分析すべき。
- A データ分析する。



決算の
審査

特別会計



国民健康保険（施設勘定）

Q 江尾診療所の医療、運営スタッフ（会計年度任用職員パートも含む）確保のためにどのようにしているのか。

A 可能な限り行っており、人材派遣会社を利用して募集しましたが成功報酬として年間給料所得の25%を派遣会社へ支払わなければならなかったため障害となっていて確保は困難な状況にあるが、継続的に募集して人員に余裕を持てるように確保し、時短勤務、フレックスタイムの導入もしやすくなるように改善していきます。

Q 江尾診療所の診療日数、医療件数、1日平均件数の推移をみると診療件数、1日平均件数が減っている。特に歯科は、3分の2に減っているが理由はなにか。

A 人口減少、高齢化が大きな原因と思われる。歯科につ

いては、コロナ禍による受診控えの影響に加え、医師の交代による診療方針の変更と患者の高齢化に伴い一人当たりの診察時間が増加していることが挙げられます。

Q 旧俣野小学校の調理室の空調改修費が支出されているが、施設の多目的利用の実態を踏まえれば、一般会計で負担すべきではないか。

A この度は、特別会計で支出しましたが、ご指摘は、今後、施設の多目的利用が進む中で、施設管理における特別会計、一般会計が負担する費用の範囲をどう決めるか課題とさせていただきます。



健康福祉センター

介護保険事業（保険事業勘定）

Q 3名の訪問調査員により介護認定調査を行い、介護認定審査会に認定情報を送付しているところだが、調査実施回数、及び人数は、何人か。

A 調査認定調査を215件実施し、延べ人数は215名です。要介護認定者数は294人から303人へと増加しました。

簡易水道事業会計

Q 老朽管の改修を行う必要と有収率の向上にも努めるとあるが、ほ

A 必要と有収率の向上にも努めるとあるが、ほぼ新しいものに替わっていると思うが、どの地区のものか、どのよう

介護老人保健施設

Q あやめの施設利用者用ベッドを令和6年度40台、令和5年度40台、合計80台を2年かけて更新しているが、この稼働率はいくらか。

A 稼働率は、平均70床です。町民が緊急の場合に使えるように開けてほしいと町より要望して開けているのは、現在の職員数では、管理できるのは70床までです。運営についても密接に協議を重ね、施設の安定的運営に向けた連携を図っていきます。

下水道等事業会計

Q 事業費の標準化を図りながら、必要に応じて改築等の実施を行っているが、各処理場は老朽化が進んでいるが、具体的な修繕・改修計画は、策定しているのか。

A 令和6年度は、特定環境保全公事業区域内の処理場の改築を行いました。今後の具体的な修繕・改修計画の策定はしていません。



チロルの里水処理センター

決算特別委員会 参考意見 一般会計

令和6年度一般会計において、歳入決算前年比2億6,100万円減少している。歳出決算は前年比1億8,159万円減少している。実質公債費比率は、令和5年度より0.7ポイント増加し16.0%である。18%となると地方債許可団体となり、徐々に危険水域に近づいている。

総務課

①福祉厚生において、全職員を対象に人間ドック、事業所健診、ストレッチを実施している。今後も、全職員が健康で安心して働くことのできる、職場環境の整備を進められたい。

②ふるさと納税推進事業について、奥大山の魅力



緊急時の対応が懸念される青空駐車

を発信できる新規の返礼品で寄付者の選択肢を広げ、貴重な自主財源の確保に努められたい。

③消防団の団員数は減少してきているが充実強化のため、引き続き待遇を含めた環境改善をさらに進めながら、団の意識向上と啓蒙を図り、団の定数確保に努められたい。

④役場公用車維持管理等について、現在59台の車を管理している。現庁舎に屋根がない場所に青空

産業建設課

①地籍調査は、過疎化、高齢化の中において環境は劣悪になりつつある。よって職員体制を整備し専任業務により完成を急がれたい。

②有害鳥獣による被害面積は減少したが、捕獲数は前年より増加傾向にある。引き続き有害鳥獣被害対策の推進を行われたい。

③江府町プレミアム付地域振興券は、99.82%という高い使用率であり住民ニーズの高い事業となっている。今後も町内の消費拡大に江府町商工会と連携して事業を展開されたい。

住民生活課

①移住定住、空き家関連相談件数については、大



空き家バンクの推進が急がれる

農業委員会

①優良農地を守り、荒廃農地を出さないため、担い手や新規参入者育成など促進が急務である。近未来への農業戦略と地域計画の策定に努力されたい。

教育委員会

①人権尊重のまちづくりの実現に資するため、人権文化センターが新築された。部落差別をはじめとする差別のない社会を目指して事業展開されたい。

②マイナンバーカードの普及促進において、令和6年度の人口2,461名に対しての普及率は93%。取得者は令和5年度が122名、令和6年度が120名となっている。今後さらに、普及啓発を強化し、100%取得を目指し普及促進に努力されたい。

②奥大山江府学園の生徒6名が、ニュージラードにおいて、海外研修を行った。国内外に子どもたちが視野を広げていく機会となった。今後の研修について、世界各国のグローバル化が急速に進む社会で、子どもたちの可能性を大いに広げられる研修先を探られたい。

決算特別委員会 参考意見 特別会計

移住促進住宅

セルフモニタリングは、事業者による定期点検、維持管理となっているが、次の建設で、利用者ファーストのものを作っていくのに利用者の声が、有効な方法となるので、利用者へのモニタリングを実施していきたい。

国民健康保険
(事業勘定)

マイナ保険証の利用率は、60.24%（令和7年6月時点）に達しているが、利便性を評価する声と、個人情報への懸念から利用をためらうこえがあり安全性、利便性を主体とした啓蒙活動の方法を考えて利用率が上がるように努められたい。



佐川第2団地

国民健康保険
(施設勘定)

江尾診療所では、スタッフ（正職員、会計年度任用職員（フルタイム・パート））が不足している状況の中、業務改善への取り組み、医療体制の確保に努めているが、今後さらなるスタッフ不足による医療サービスの低下が起らないよう、あらゆる方法でのスタッフの確保に努めていただき、スタッフの募集も継続的に行っていたきたい。

介護保険事業
(保険事業勘定)

高齢化率が49.6%から50.76%に要介護認定者も294人から303人に増加、在宅サービスの需要の増している半面、看護者の高齢化、町内介護事業所の人材不足により必要サービスの低下が懸念されるが、サービス提供体制を整備し高齢者が安心して暮らしていけるように努められたい。



利用が高まる顔認証付きカードリーダー

簡易水道事業会計

99.63%の普及率は、総排水量446.54m³で有排水等によって失われている漏水による道路陥没などのリスクもある。漏水箇所の修繕と併せて老朽管の改修の計画を策定し、有収率の向上に努められたい。

下水道等事業会計

各地区に点在する処理施設の老朽化が進行していることへの懸念が示された。今後は施設の健全度を正確に評価し、優先順位を定めた具体的な修繕・改修計画を策定し、必要に応じて改築等の実施に努められたい。

日野病院組合議会

(令和7年第3回定例会)

令和7年8月28日、日野町役場議場で第3回定例会が開催されました。付議案件の主な結果は次のとおりです。

決算の認定（令和6年度）

○議案第17号：病院事業会計決算の認定

収益的収支は前年度比▲20,322千円だが、36,497千円の黒字。

指摘事項：医師・看護師の増員および確保、未収金の徴収・処理に努められたい。人工透析体制の充実を検討されたい。

○議案第18号：在宅介護支援事業会計決算の認定

収益的収支は前年度比▲6,024千円だが、2,599千円の黒字。指摘事項なし。

○議案第19号：診療所事業会計決算の認定

特別交付税の増加により、収益的収支は前年度比+1,306千円、9,364千円の黒字。患者数減の傾向があり、原因分析と健全経営に努められたい。指摘事項なし。

補正予算（令和7年度）

○議案第20号：病院事業会計補正（第1号）

資本金収入補正：+46,746千円（計171,946千円）

資本金支出補正：+46,756千円（計334,462千円）

日野町江府町日南町衛生施設組合議会

令和7年8月29日、江府町役場議場で第3回定例会が開催されました。

決算の認定（令和6年度）

○議案第8号：会計歳入歳出決算の認定

歳入 171,665千円／歳出 154,356千円／差引 11,309千円

審査意見：適正な執行と円滑な業務運営に努めていることが認められる。

補正予算（令和7年度）

○議案第9号：会計補正予算（第2号）

繰越金 11,309千円を追加し、総予算 217,683千円とする。

鳥取県西部広域行政管理組合議会

(令和7年9月定例会)

令和7年8月22日、米子市淀江支所議場にて開催。概要は次の通りです。

○工事請負契約の締結について：旧灰溶融施設（エコスラグセンター）解体撤去工事

契約の相手方：東亜建設工業・金田工務店・津田建築特定建設工事共同企業体

契約金額：9億1,300万円

政治倫理条例関係の報告

(政治倫理条例第5条により報告と掲載)

教育委員の退任及び
就任のお知らせ

令和7年9月30日付で富田美智子委員が退任され後任に江府町尾之上原出身の中尾 真氏が同年10月1日より就任しました。

富田委員には2010年の就任以来、お勤めいただき大変お世話になりました。

受付日	令和7年10月24日	令和7年10月24日
企業名	(株) コーセン	(株) コーセン
議員と企業との関係	代表取締役	代表取締役
契約の内容	旧庁舎跡地造成駐車場整備工事	湖岸トンネル修繕工事(その2)
請負の方法	指名競争入札	指名競争入札
契約金額	26,180,000円	36,400,000円



町政を問う!! 5名の議員が一般質問

- 緊急時の町内企業との連携について
- 再生エネルギー施設設置に関する今後の展望について

●土地の魅力化と有効活用について



緊急時の町内企業との連携について

質問 令和7年6月17日、中国電力保野川発電所において発煙現象が発生し、同日午後5時20分に終息し、人的

加藤 邦樹

動画で一般質問



加藤議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

な被害は軽傷2名というところで大事には至らなかったが、想定外の事象により企業の対応が後手となり、情報が少なく、住民への説明も要請を重ねてようやく実現したことなど、地域住民にとっては大変、不安と心配をもたらした出来事だった。今回の中国電力の対応について、町長はどのように評価され、また今後町としての姿勢を示していける考えか伺う。

中国電力保野発電所

町長答弁 中国電力に消防団出動後電話

したが、何が起きているのか把握しておらず対応が遅かった。現場と本間で連携が取れていないと感じた。今後についてマスコミより早く情報を連絡してほしいことを要望し、また地元の不安を払拭していただきたいことを引き続きお願いしていきたい。

質問

町内には他にも誘致企業や事業所がある。今後、事業者により「地域住民を尊重した対応」を求めていることが必要だと考えるが、その点について町長の考えを伺う。

町長答弁

重大な事故があれば当然速やかに対応すべき、それ以外はケースバイケースで判断すべき、住民や周辺の町に被害が広がるようなことがあれば速やかに企業に対応していただきたい。

再生可能エネルギー施設設置に関する今後の展望について

質問

鳥取県西部風力発電計画について、8月12日の記者会見で、正式に「反対」と江府町の立場を明らかにされた。その理由として、土砂災害に対する強い懸念、計画変更がなされても各町に十分な説明がなされず事業者への不信感といった点が挙げられた。今回の風力発電所建設計画に至る一連の経過を踏まえ、今後どのような姿勢で再生可能エネルギー施設の導入に向き合うのか、また他の自治体のように条例を制定するなど、仕組みを設ける必要があると思うが、町長の見解を伺う。

町長答弁

鳥取県西部風力発電事業について明確な反対を表明した。理由として、大きな計画変更にもかかわらず相談もない事業者に対して不

信感を持った、信用できない。

条例について、条例まで作る必要はないと考えている。規制条例についてはその実効性について疑問、理念条例について、あえて条例を作らなくても、江府町は奥大山の自然を守ることを大事にしようと言っている、殊さら条例まで作る必要はない。

質問

再生エネルギーは風力だけではなく、太陽光もある。太陽光発電の場合、町内の農地は遊休農地が増えてきている状況で、業者が入り込んでくる懸念がある。そういったことへの対処方法は考えられているか。

町長答弁

できるだけ担い手を増やし、耕作放棄地を減らすことだと考えている。



川端 登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

農地編

質問 現状の農業問題に真摯に取り組む考えがあるか伺う。

町長答弁

何とか担い手の方を作って持続可能な農業にしていきたい。

質問

ICTを用い人やロボット、女性農業者が増えるような環境や安心安全な基準を取り入れた江府町モデルを事業化する考えはないか？

町長答弁

担う人たちが出てきて、これから10年も20年も続けるので区画を大きくしてほしいというような話があれば考えます。

質問 公共事業から発生する大量の土砂を盛土に活用し隣接する不耕作圃場をかさ上げ連結すれば面積は一挙に倍になる。畦の幅やのり面も自走式の草刈り機が安全に作業できる勾配にすれば、労力は半減し生産性も上がります。しかも地元負担なしで、この様なことは行政が事業の必要性を積極的に働きかけねば実現しないと考えますが？

町長答弁

やはり意欲ある担い手がいることが前提になると考えます。

産業建設課長答弁

「地元負担のない圃場整備について周知不足では？」ということ

宅地編

質問 2年前に不幸にも火災にあわれた土地があります。町長の英断でいち早く処理が出来今年も十七夜の賑わいが見られました。先ごろ関係者の方たちと復興についてお話の機会を設けたとのことでしたが、如何様な状況であったか、この先どのように復興を進めるのか伺いたい。

町長答弁

6月29日に新町二丁目公民館で開催しました、火災現場の解体撤去の経過など説明して意見交換をしました。土地については寄付し

質問

一度は公金を投入して復興の一助としたのだから今後も一体となって相談など支援に取り組むべきではないか？

町長答弁

今回稀に見る大火災でありましたので特例として解体撤去費を公

金支出しました、ですので更なる支出は考えていません。ただ土地の無償譲渡が一部あると申しましたが、もし一団の土地として活用が見込みがあれば地元とも相談しながら検討する余地はあると思います。

質問

今後新築や改築或は修繕の場合、魅力化の一つとして昔の意匠を意識した造りに対して何か町が後押しすれば復興が進むのではないかと考えますが？

町長答弁

たまたま火災で公金を支出しましたが江尾筋も空き家の所が一杯あるのでそこにどうやって手を入れていくのかとても難しい話だと思います。



再び賑わいを待つ通り

●町民の安心安全な生活について



川端 裕



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

町内の防災について

質問 初期消火は延焼を防ぐためには、重要な行動ですが、消火栓の放水口が固定されたものは、操作しにくく高齢者を取り扱う場合は、危険をともないます。安全性、効率化を図るために早急に回転式のものに替えるべきと思うが。



固定式消火栓



回転式消火栓

質問 現在、町内の消火栓設置数は284、集落によってはすべて回転

町長答弁 私としては、火災の場合、人命、建物、財産を守るという意味で早い段階での消火は、とても重要なことだとおもっています。従来の固定式は、操作がしにくいので、回転式のものに取替えていきます。

式に替わっているところもあれば、数基しか替わっていない集落がありますが、取替えが集落によってかたよっていないか。また取替計画、取替基準、点検はどうなっているのか。

町長答弁

まず、点検について、春と秋の火災予防運動時に消防団が行っています。防災訓練のときに集落でも行っていたいています。この際、気づいた点を報告いただいている。取替計画は特に作っていません。

質問 消火用ホースの管理は、各集落で行っているが、江尾地区では、行政がすべて行ったと聞きましたが、どういう経緯で行われたのか。

町長答弁

2年前の江尾大火があまりにもインパクトが強かったので補助金をだして江尾地区全体

のホース格納庫、ホースを江尾区で設置していただいたという経緯があり特殊な例だったということです。

児童生徒の防犯について
質問 今年6月、7月に教員の児童生徒に対するわいせつ行為や盗撮をした画像、動画をSNS上での教員グループで共有していたなどの事件が報道されました。教育長はどのように対応され、これからの具体策を講じていくのか。

教育長答弁

教職員の服務規律確保の徹底及び未然防止のための措置を講じるよう指示をしたところです。第三者の目の届きにくい密室状態の回避や組織的な指導体制を推進し教室、トイレ、更衣室等の定期的な点検、盗難防止のための教室等の環境整備の実施児童生徒に性暴力に「関するアンケート調査を行い児童生徒、保護者が安心して相談できる環境整備を行っています。

●かなりきびしい本町の財政状況について



芦立 喜男



芦立議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

本町の財政状況について

質問 令和5年度決算統計の速報値において、地方債の町民の一人当たり財政負担は、18万2千円であり、これを減少させることは考えているのか？

また、実質公債費比率は15・3%であるが、直近の令和5年度16・8%となっている。今後、大型事業分の返済が加われば、さらに上昇すると考えられる。18%を超えない方策はあるのか？

町長答弁

過去に借りていたものについて、繰り上げ

償還をしていくこと、新たな起債について交付税措置ないものを極力避けていくことが重要であろうと思います。

総務課長答弁

町民一人当たり起債地方債負担を抑えることに対しては、町債残高を減らしていく必要があります。新規町債発行額を抑え、町債をあてにした予算編成を見直すことが肝要と思われまます。今後の見通しとして、新庁舎建設、防災行政無線デジタル化、佐川のパレット奥大山第二団地等の整備事業で借り入れた町債の元金償還が始まりますと、公債費比率が上

昇することが見込まれております。さらに、佐川地内に予定しておりますコミュニティパークの建設、西部広域行政管理組合によります新たなゴミ処理施設建設での発行が見込まれます。しかし、公債費比率が18%を超えないために任意の繰り上げ償還や町債の返済に充てるための財源を確保するため、減債基金の繰入れで当てております。

質問 県内各市町村には、財政推計(5年先までの歳入歳出計画状況)がありますが、本町では財政推計を出したことがありますか？

今現在、財政推定がありますか？

町長答弁

過去には財政推定をやったこともあります。作成してもいいですけど、結構絵に描いた餅になるのかなという気がしますし、それに

質問 ふるさと納税について、町民からは、「ふるさと納税が多いから大丈夫」とよく聞きます。しかし令和4年度、5年度、6年度と伸び率はほぼ止まっています。町長や関係者みなさまの努力は認めますが、今後、ふるさと納税に対する方向の転換や返礼品の変更等、考えはあるか？

町長答弁

ふるさと納税に関しては、返礼品だけでなく、本当に担当者が努力して、寄付があつてから返礼品が返ってくる時間を短縮したりして、ここまで来たものだと思っています。今、プレミアム米の話はされましたけど、米は鳥取県も、他県も

従って、町民の皆さんに結構な負担を強いられることも考えていただいて、つくれと言ってもらえると、考えてもいいかなと思います。

質問

町の方から田植えの前に、お米を「ふるさと納税の返礼品として使いたいのでよろしく願います。」と町報に掲載してください。農家の皆さんは協力してくれると思います。



返済が始まる新庁舎

●財政がきびしい状況で コミュニティパーク建設が適切かを問う



前川 文洋

動画で一般質問



前川議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

財政について

質問 財政が厳しい中、大型事業（コミュニティパーク）を進める妥当性はあるか？住民サービスの維持見通しはどうか？

町長答弁 財政運営はより厳しくなるが、現状維持だけでは町が衰退する。外部の応援も増えている今こそ、有利な財源を使いながら事業を進め、財政との両立をはかっていきたい。
事業の進捗を調整することで、行政サービスに大きなしわ寄せは来ないと思っています。

質問 上下水道料金の値上げはあるか？

産業建設課長答弁 5年ごとに見直し（直近は令和元年）。人口減少で赤字が生じ、過去5年平均で一般会計から約5600万円を支援している。新しい料金は子育て世帯・高齢者に配慮して、全協説明↓パブコメ・住民説明会↓条例改正の手順で進めます。

質問 実質公債費比率18%回避の具体策は？

町長答弁 不利な起債から優先して繰上償還する。令和6年度は約2000万円、今年度は約4000万円を考えており、借入と返

建設費について

質問 保育園計画がコミュニティパークへ発展した経緯は？

町長答弁 現保育園は土砂災害の不安、送迎動線の課題がPTA要望で示された。最初は佐川地区に保育園を移設という話だったが、町内の遊び場不足も踏まえて、職員プロジェクトや住民ワークショップで「公園の中に預かる施設」というイメージを形成しました。

まちづくりについて

質問 保育施設の適地性と交通安全の考え方は？

町長答弁 まとまった用地が得られ、公園一体で子どもが伸び伸び遊べる利点があるため佐川地区を選定した。送迎は保護者の車利用が基本と考える。安全配慮については継続して検討します。

質問 二地域居住促進住宅を旧役場跡地に置く妥当性と、空き家活用は？

町長答弁 江尾の賑わいを維持する必要がある、分譲を基本に一区画はシェアハウス等も検討する。空き家は行政が改修すると一棟当たり何千万円とかかるため、民間に任せる仕組みも検討したいと考えています。

質問 両事業の立地再検討を求める。

町長答弁

議会の承認を経て進んでおり、再検討はしない。



旧役場跡地

風車発電事業計画に対し 中止を求める

決議決定

(イメージです)

鳥取西部風力発電事業計画に対し、中止を求める決議を町長に対し行いました。江府町議会としては、この事業について、多くの町民の意見、要望を踏まえ、8月4日に町長に対して事業廃止の提言をしていましたが、この度の9月議会において、決議決定しました。今この事業については、関係自治体3町長とも、反対表明をされていますが、自治体に中止の決定権がなく、3町共同で国に対して関係自治体の意見を認可の重要参考にするよう、鳥取県知事を通じて要望しているところです。

決議書の内容は次のとおりです。

江府町長 白石 祐治 様

江府町議会議長 阿部 朝親

鳥取西部風力発電事業計画に対し中止を求める決議

国の再生可能エネルギーについての考え方は、賛同できるものであり、風力発電そのものに対して反対するものではないが、本町は、雄峰大山の裾野に広がる風光明媚な土地柄であり、大山隠岐国立公園の一部となっている。また、町全域は優れた自然環境と農業のバランスが保たれ、安心安全な農産物の生産に適した地域の証である「環境王国」の厳しい認定条件をクリアしている。したがって、町民及び行政と議会はこれを守り続けなければならない。しかし、この度の本町での標記事業の最新計画を聞くに及び、これを大変憂慮するものである。

さらに、真砂土の急峻な山への施設設置及び建設用道路の敷設に対し、近年の異常気象による頻発する集中豪雨により、崩落の危険性が更に増すのではとの懸念も拭えず、多くに町民からの反対の意思表示も寄せられている。

しかも、事業の大きな計画変更についても、何の事前協議もなく行われるなど、企業の事業の進め方についても大きな不審、疑念を持たざるを得ない。

これらの理由により、本議会としては当該事業計画に対し、中止を町長に求め決議する。

住民懇談会 開催のお知らせ

平素より議会運営にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

議会では、町政に関する情報共有と意見交換の場として、下記のとおり住民懇談会を開催します。二部構成とし前半は9月議会の内容をテーマに、後半はフリートークとして幅広くご質問・ご要望を伺います。

日時 令和7年11月23日(日) 13時30分～15時30分

会場 江府町役場2階

対象 どなたでも（予約不要・途中入退室可）

参加 全議員

町民の皆さまから定期開催のご要望を受け、年2回（9月の決算審査後と3月の予算審査後）を基本に継続開催してまいります。皆さまの率直なお声が、より良い町政と議会運営につながります。ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加ください。

私のひとこと



江府町地域おこし協力隊
わたなべ ゆみこ
渡部裕美子

子ども同士の遊びと自然体験！

8 月から地域おこし協力隊として活動しています、渡部です。移住後まもなく、子ども達の自然体験が少ない、遊ぶ場所がないというお話を伺って、小学生と自然遊びの時間をあやめ館を拠点に試行しています。

男の子2人のやりたい遊びが、キャッチボールと魚獲りにわかれた時のことです。一緒に遊びたい、でもやりたいことが違うこの状況、大人が決めてしまうことは簡単ですし、子ども達は決められることにも慣れていきます。遊びも含めて自分

に関わる様々な決定を、自分で考えて周囲と折り合いながら決めることができる力を私はとても大切だと考えているので、2人はどうやって決めるかな々と眺めていました。すると「あとのくらい遊べる？」と子ども達から確認が入りました。茂みにボールを吸い込まれながらも一頻りキャッチボールをした後「そろそろ川に行くか」と10月の船谷川へ入水！短い時間でもどちらも満足に遊びきり、イイ顔の少年に私も満たされてこの日を終わりました。

子どもも大人も生のやりとりの中では、発せられた言葉以上に声色や表情、態度を感じとっています。その感覚を頼りに、時にやりすぎたという経験も糧に、調和的なコミュニケーションや自分のコントロールの仕方



を学んでいくのだと思います。

心身共に急成長していく子ども時代には、自然は発達に十分な感覚刺激を与えてくれ、変化に富む環境の中で頭も心も身体もフルに使って溢れる好奇心を満たす経験は、全て含めてセンスオブワンダー！

大袈裟でなく生涯を貫く宝物で、主体的に人生を歩む土台になると思います。その自然環境に恵まれた江府町で、子ども達が本来備わった個性をのびのびと伸ばしながら健やかに成長していくことを願い、微力ながら貢献できればと思っています。



ようやく秋の気配を感じられるこの頃です。四季折々の趣は、日本特有のものですが、その季節感がなくなってきました。近頃では、熊の被害など有害鳥獣による、人や農産物への被害が拡大しています。温暖化により生物の生態が変わってきたからだと思います。本町が取り組んでいる、プラネタリーヘルスをもっと身近なものとして、全国に全世界に呼び掛けていくことの重要性を改めて考えます。そして、江府町議会は、この9月議会で、今計画されている自然を破壊するような風力発電には、強く反対していくことを決議しました。人類だけでなく、全ての生物が本来の生き方を取り戻し、この素晴らしい自然環境を未来に残していきたいと強く感じます。

森田 哲也

広報公聴常任委員会

委員長 川端登志一
副委員長 森田 哲也
委員 芦立 喜男
委員 川端 裕

前川 文洋